

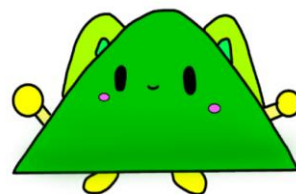
学校通信第14号

12月11日



真菅だより 2024

橿原市立真菅小学校 ☎ (22)6300



真菅小学校公式キャラクター

う～ね

2学期もいよいよ終盤

今学期も残すところ10日あまりとなりました。

明日からは個人懇談が始まります。子どもたちの学校での様子をお伝えする一方、ご家庭での様子をお伺いすることで連携を深めたいと思います。

さて、昨日12月10日は、「世界人権デー」でした。1948年、12月10日に第3回国連総会において、「世界人権宣言」が採択され、1960年の第5回総会で、12月10日を「人権デー」と定めたことに始まります。日本では、毎年12月4日から10日までを「人権週間」として、各地で人権啓発が行われています。本年度「第76回人権週間」も「『誰か』のことじゃない。」をテーマに様々な取組が行われました。

本校では、12月6日（金）、6年生が平和学習の一環として「Smile connect」を開催しました。「Smile connect」は、全学年の笑顔が結べることを願ってつけられた名前です。「在校生に平和の大切さを伝える」「平和をつくる方法を自分たちで考え、行動にうつす」ことをねらいとした活動です。「あなたのこと教えてね」や「マスゲリズム体操」など4つの活動ブースと、「つなげて完成！平和のしおり」や「ぺたぺたジャイアントツリー」「う～ねとますげっこ」など8つの制作ブースを設け、1年生から5年生の各学級がそれぞれ4つの班に分かれて、各ブース（2つずつ）を体験しました。企画や準備、当日の運営等、6年生が主体的に取り組み、自分たちが学んだ「平和」について、各ブースでの活動を通して1年生から5年生に伝え、共に学び合う時間になりました。



折しも、10日にノルウェー・オスロで日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）へのノーベル平和賞の授賞式がありました。日本被団協の活動は、世界に核兵器の恐ろしさと平和の大切さを伝える大きな役割を果たしてこられました。平和賞の授賞理由の1つには、「新たな世代が目撃者のメッセージを伝えている」とあります。平和のバトンを受け継ぎ、感じ・考え・行動する子どもたちを育んでいきたいと思います。



有意義な個人懇談の実施に向けて

個人懇談（希望制）を、12月12日から18日まで5日間実施します。

この個人懇談会の目的は、まず学校におけるお子さんの学習面や生活面での取り組みの様子について、これまで努力してきたところや成長してきたところなどを具体的にお伝えし、保護者の皆様にご理解いただくところにあります。

次に、ご家庭での様子や成長してきた姿、また保護者の方々の願いや期待を伺うとともに、悩みや不安なこと、相談したいことなどについてお話を伺いながら解決の方策などをいっしょに考えることによって、担任と保護者の方々との共通理解と相互理解を深めるところにあります。

2学期になって、お子さんの頑張りで成長したところや、あらたな気になるところなど、様々あると思います。懇談では、率直なご意見やご要望なども含めてお伝えいただければ幸いです。この個人懇談会が、保護者の方々とともに、子どもたち一人一人のよりよい成長をめざした有意義な話し合いの場となることを心より願っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

また、個人懇談を希望されなかった場合も、お子様の学校生活や学習の様子等で気になることがありましたら、ご遠慮なく学校までご相談ください。

委員会活動の紹介

学校生活をより良いものにしようと、5・6年生は責任をもって委員会活動に取り組んでいます。その一部を紹介します



給食委員会

給食委員会が代表して、各学級からの感謝のメッセージを調理員さんに渡しました。

「いつも安全でおいしい給食をありがとうございます。」



図書委員会

中休みに、視聴覚室で絵本の読み聞かせを実施しました。リクエストがあり2回続けて読んだ絵本もありました。



環境委員会

「人権の花」としてパンジーの苗を植えました。この「人権の花」は、「人権週間」にあわせて葛城人権擁護委員協議会からいただいたものです。

【3学期の主な行事予定】

1月28日（火）新1年生体験入学・入学説明会

2月 6日（木）授業参観

3月18日（火）卒業式

3月24日（月）修了式

※授業参観及び卒業式の詳細については、改めてご案内いたします。

学校通信第15号

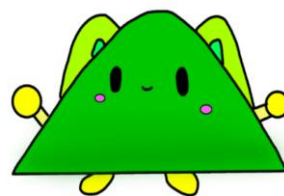
12月24日



真菅だより 2024

橿原市立真菅小学校

☎ (22)6300



真菅小学校公式キャラクター

う〜ね

今日から冬休み

2学期は学習活動が深まり、学校行事もほぼ予定通り行うことができ、充実した日々となりました。今学期も保護者の皆様並びに地域の皆様、多くのボランティアの方々にご支援ご協力いただき心より感謝申し上げます。

今日から冬休みです。そして、新しい年を迎えます。子どもたちが有意義な時間を過ごしてくれることを願っています。

先日の報道では、今シーズン初めて奈良県内全域にインフルエンザ注意報が発表され、今後さらに拡大が予想されています。どうぞ休み中も健康管理には十分ご注意ください。

【 終業式の話 】

終業式では、2学期最後の日是一人一人の成長や頑張ったことを認め合い、喜び合う日にしようと話しました。また、化学者である吉野彰さんの話を紹介しました。吉野さんは、リチウムイオン電池の発明者の一人です。吉野さんが化学に興味を持ったのは、小学校4年生の時に読んだ『ロウソクの科学』という本がきっかけだそうです。「ロウソクはなぜ芯が必要なのか」「炎はなぜ黄色いのか」など、おもしろいと思いながら本を読んだそうです。そして、化学やものの作りに興味をもち、研究者の道を歩んだそうです。このことから、子どもたちには、「この冬休み、たくさんの本を読んだり、いろいろな体験をしたりして、いろいろなものに出会い自分の世界を広げてほしいこと、自分がおもしろいと思えるものや興味をもてるものを見つけてほしいこと」を話しました。『好きこそものの上手なれ』ということわざがあります。好きなことは一生懸命に取り組み、おのずと上手になり得意になっていきます。また、好きなことや夢中になれることがあると、壁にぶつかっても、また頑張ろうという気持ちになります。ぜひ、そのようなものを見つけてほしいと思います。

生徒指導担当からは一人芝居の形式で、守ってほしい4つのことを分かりやすく伝えました。

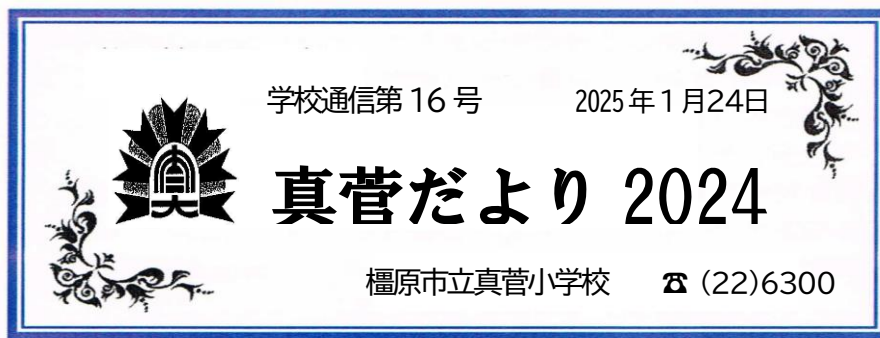
1つ目は、自転車の安全な乗り方です。公園内を走行するとどうなるか、ヘルメットは何のために着用するかなどを考えました。

2つ目は、危険な遊びをしないことです。例えば、道路や空き地などにある石を蹴って、周りのお家、歩行者や車に迷惑をかけていないかを振り返りました。

3つ目は、規則正しい生活をする事です。約束の時間を守り暗くなる前に帰宅すること、夜更かしをしないことなどを確認しました。

4つ目は、お金の使い方です。友だちに物を買ったり買ってもらったりすることがないよう、自分でお金の使い方を考えることを確認しました。

冬休みは、新しい年にかわる節目でもあります。この一年を振り返るとともに、新しい年を迎えて自分の夢や目標を思い描き、そのための努力ができるよう計画を立てる、そんな冬休みにしてほしいと思います。皆様、良いお年をお迎えください。



ステップアップの3学期

新しい年が始まり早3週間が過ぎました。

さて、3学期は言うまでもなく、まとめの学期であり次に備える学期でもあります。1年間のまとめとしての3学期を、充実した次年度へつなげる大切な日々にするために、学習面や生活面の総仕上げをしていきたいと考えます。子どもたちには、やり残したことのないように、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

真菅小学校に関わるすべての皆様と力を合わせて、この一年間をよい年にしていきたいと思えます。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

全国学校給食週間が始まりました（1月24日～30日）

全国学校給食週間は、学校給食の意義や役割について知ってもらい、これからの学校給食について考えてもらうことを目的として設けられました。

学校給食の始まりは明治22年、山形県鶴岡町（現在は鶴岡市）にある小学校でお弁当を持ってこれられない子どもたちのために無料で食事を提供したことからといわれています。その後、全国で学校給食が実施されるようになりましたが、戦争による食糧不足で中止となりました。戦後、昭和21年12月24日に、新しい学校給食が始まったことから、この日を「学校給食感謝の日」としていましたが、冬休みに入ってしまうため、その1か月後の1月24日からの1週間で「全国学校給食週間」とすることが決まったそうです。

現在では「健やかな体を育む」「自然と命の恵みに感謝する」「伝統的な食文化を知る」「学校生活を心豊かに送る」などを目標に取り組みが行われています。学校では、健康な心と体を育み、生きる力を培う大切な営みとして給食指導に取り組みたいと思います。

～給食日誌を紹介します～

毎日の給食後、調理員さんは給食日誌を書いておられます。その日の献立名と献立ごとの残量（重さ）に加えて、感想が書かれています。その一部を紹介します。

「初日からよく食べていました。とてもうれしかったです。」

「雑煮の優しい味、芋きんとんの口当たりがなめらかで甘くて食べやすく、子どもたちに好評だったようで、残量が少なかったです。」

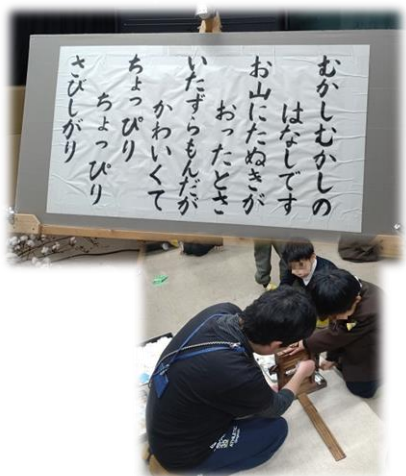
「赤十字団けんちん汁は、災害時の炊き出し料理でしたが、よく食べてくれていました。ごはんもいつもよりよく食べてくれていました。」

「『今日はカレーや!』の子どもの声、完食のクラスが多く、残食がなかったことがとてもうれしかったです。」

給食の残量を確認することで、その日の味付けや野菜の切り方等が子どもたちに食べやすいものになっていたかを振り返り、残量が少ない日は「よく食べてくれてうれしい」と喜んでおられます。感謝の気持ちを込めて **いただきます!!**

1年生『たぬきの糸車』体験

1年生は国語で物語文『たぬきの糸車』を学習しました。物語の世界を味わい読みを深めるために、15日（水）、橿原市子ども総合支援センターの方にお越しいただき体験学習を行いました。朗読劇を鑑賞した後、糸車や綿繰り機（綿と種を分ける道具）を回す体験をしました。



避難訓練

17日（金）の中休み、地震を想定した抜き打ちの避難訓練を行いました。休み時間が始まって5分後に「訓練、訓練です。地震が発生しました・・・」と緊急放送が入った瞬間、校舎内が一斉に静かになりました。廊下の様子を見ると、頭を押さえて身をかかめている子がたくさんいました。静かに次の放送を待っています。「揺れが収まりました。運動場へ避難しましょう」の放送で、すばやく運動場に避難しました。子どもたちの一連の動きを見ていて、訓練の積み重ねや日頃の備えの大切さを痛感しました。運動場で遊んでいた子どもたちが少し騒がしかったことが残念でしたが、そのことに触れながら「命を守るための大切な訓練であること。いざという時に自分で考え、行動できるように真剣に取り組もう」という話をすると、運動場に集まった全員がしっかりと話を聞いてくれました。

今年、阪神淡路大震災から30年となりました。また、今後の発生が予想されている南海トラフ地震の30年内発生確率が80%に引き上げられる等、いざという時の備えについて考える機会が多くあるように思います。ご家庭でも防災に関する話をしていただければ幸いです。



引き続き感染予防対策への取組を

1月20日は大寒でした。これから立春までが一年で最も寒いと言われていいます。近頃は少し寒さが和らぐ日もありますが、まだまだ寒い日は続きます。

本校では2学期に感染症の大きな流行や学級閉鎖はありませんでしたが、県内のインフルエンザ警報が発令中であることから注意が必要です。学校でも、日頃の健康観察や換気、手洗い、咳エチケット等、感染予防対策への取組を進めて参ります。今後ともご協力をお願いします。

「寒いね」と話しかければ「寒いね」と答える人のいるあたたかさ

（依万智『サラダ記念日』より）

寒さが厳しい時期だからこそ、心が温まる「温かい言葉」を届け合いたいです。